

【1】わり算ってなに？

ある数を(いくつかのグループに分ける)とき、(1つのグループ)の数を求める計算がわり算です。

また、ある数を(同じ数ずつ分ける)とき、(いくつかのグループができる)かを求める計算にもわり算を使います。

《例題》

- ①あめが9個あります。3人に同じ数ずつ分けると、1人分は、何個になるでしょうか？



答え. 3個

- ②あめが12個あります。2個ずつ袋に入れると、あめの入った袋は何袋できるでしょうか？



答え. 6袋

わり算の式

わり算は、(÷)と、(=)を使って、式に表します。
上の例題を式にしてみよう。

①(全体の数) ÷ (いくつか分) = (1つ分)

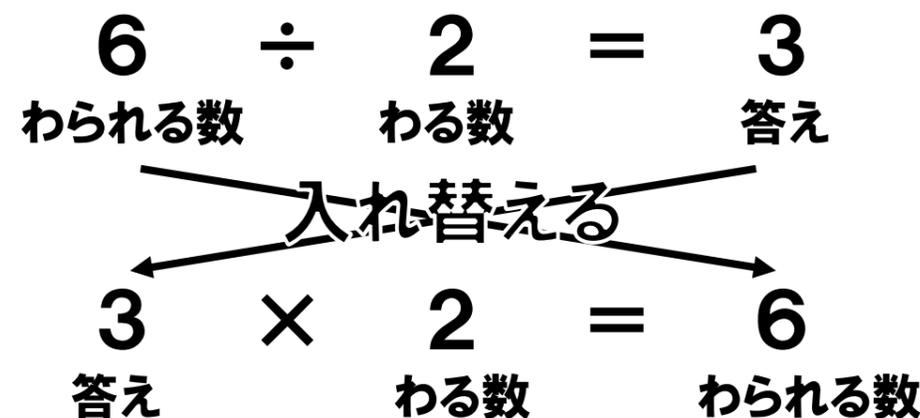
9 ÷ 3 = 3

②(全体の数) ÷ (1つ分) = (いくつか分)

12 ÷ 2 = 6

【2】かけ算を覚えよう！

わり算の問題をとくには、かけ算(九九)を覚えるのがとても大切です。わり算の式の全体の数『(わられる数)』と答えを(入れ替える、ひっくり返す)と(かけ算)の式になります。



《例題》

かけ算の100マス計算をして、空白を埋めてください。

×	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

《問題》

① 3 × 5 = 15

④ 2 × 4 = 8

② 6 × 8 = 48

⑤ 10 × 9 = 90

③ 7 × 3 = 21

⑥ 9 × 6 = 54